

インターネット LIVE
**N
S**予想大会
第167回日商簿記1級

2024年5月8日(水) 19:30 よりスタート

商業簿記/会計学担当:中村雄行

工業簿記/原価計算担当:藤本拓也

—しばらくお待ちください—

インターネット LIVE
**N
S**予想大会
第167回目商簿記1級

スケジュール

- 19:30 挨拶/講師紹介
- 19:40 商業簿記/会計学予想 (担当:中村)
- 20:10 工業簿記/原価計算予想 (担当:藤本)
- 20:40 直前期の過ごし方
- 20:45 お悩み相談
- 20:55 グランドフィナーレ

※進行状況によりスケジュールは変更になる場合がございます。

予想大会

◆◆商業簿記・会計学◆◆

過去の出題実績
出題予想
ワンポイント講義



項	目	頻度	152回	153回	156回	157回	158回	159回	161回	162回	164回	165回
損益計算書		6	●	●	●	●					●	●
貸借対照表		3			●				●	●		
残高試算表		1					●					
損益・決算残高		-										
本支店会計		1						●				
連結会計		2			●		●					
決算整理事項等												
商品販売他	商品売買	2				●			●			
	保守サービス付き販売	1										●
	返品権付き販売	2								●	●	
	未着品売買	1										●
	売価還元法	2										●
	棚卸資産評価損	5	●	●		●		●		●		
	カスタマー・ロイヤリティ・プログラム	1							●			
金銭債権	貸倒懸念債権	2		●			●					
	破産更生債権等	2					●		●			
	電子記録債権	-										
有価証券	売買目的有価証券	1										●
	満期保有目的債券	3					●	●			●	
	子会社・関連会社株式	1						●				
	その他の有価証券	4	●				●					
有形固定資産	資本的支出・買換え	1								●		
	200%定率法	7	●	●		●		●		●	●	●
	減損会計	3								●	●	
	リース会計	1		●								
	資産除去債務	2				●						●
無形固定資産	ソフトウェア	3	●	●					●			●
負債性引当金	退職給付会計	7	●	●		●		●	●			●
社債	社債償却原価法	1					●					
	社債買入償還	1										●
	社債抽選償還	1	●									
資本会計	新株予約権付社債	2		●			●					
	自己株式	5	●	●	●	●				●		
	剰余金の配当	4	●	●					●		●	
外貨・純資産	外貨換算会計	2				●						
	為替予約	4				●				●	●	●
	予定取引	-										
	在外支店	1						●				
	デリバティブとヘッジ会計	-										
	新株予約権	1			●							
	ストック・オプション	1			●							
連結会計	資本連結	2			●		●					
	成果連結	1			●							
	持分法	1					●					
	税効果会計	1									●	
	包括利益	-										
その他	会計上の変更・誤謬の訂正	2	●						●			
	受注制作のソフトウェア	1										●
	税効果会計	5	●		●		●		●			●

商業簿記の傾向

まずは出題頻度の高い論
点から演じていこう！



- …注意論点…
- ・収益認識、割賦販売、ポイント
 - ・貸倒懸念債権
 - ・リース会計
 - ・新株予約権付社債
 - ・自己株式
 - ・デリバティブ取引
 - ・連結会計(包括利益)
 - ・連結会計(持分法)

ここから
出てる

理論問題	頻度	152回	153回	156回	157回	158回	159回	161回	162回	164回	165回
正誤問題	5										
語句記入問題	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
語群選択問題	-										
記述問題	-										
計算問題											
商品売買	複数の履行義務	1							●		
	売価還元法	-									
	棚卸資産	1				●					
債権	貸倒懸念債権	1									●
	利息の認識	-									
有価証券	売買目的有価証券	-									
	満期保有目的債券	1			●						
	子会社・関連会社株式	1			●						
	その他の有価証券	1			●						
有形固定資産	200%定率法	-									
	減損会計	1				●					
	資産除去債務	1			●						
	ファイナンス・リース	3	●			●			●		
	圧縮記憶	1				○					
負債性引当金	退職給付会計	-									
	償却原価：利息法	-									
社債	社債買入償還	-									
	社債抽選償還	-									
資本会計	新株予約権付社債	1							●		
	剰余金の配当等	1						●			
	分配可能額	1						●			
	自己株式	1									●
	株主資本等変動計算書	1									●
外貨・純資産	外貨換算会計	-									
	デリバティブとヘッジ会計	1			●						
	ストック・オプション	1				●					
連結会計	資本連結	4		●						●	●
	成果連結	3		●		●				●	●
	持分法	1		●							
	税効果会計	2		●						●	●
	在外子会社の連結	2						●			
	包括利益	2		●							●
キャッシュ・フロー会計	営業活動：直接法	-									
	営業活動：間接法	-									
	連結キャッシュ・フロー	-									
企業結合・事業分離	吸収合併等	-									
	株式交換・株式移転	1				●					
	事業分離・共同支配企業	1						●			
	1株当たり当期純利益	-									
その他	不動産の流動化	-									
	税効果会計	3		●	●						●
	工事契約	-									
	会計上の変更・誤謬の訂正	1						●			
	ソフトウェア	1						●			

会計学の傾向



…注意論点…

- ・収益認識
- ・連結会計(退職給付)
- ・社債(抽選償還)
- ・連結会計(組織再編)
- ・キャッシュ・フロー計算書
- ・税効果会計

ここから出てる

この辺は要注意！
危ないぞ！

商業簿記・会計学…収益認識基準の問題はしっかり対策！

出題予想

	第1予想(本命)	第2予想(対抗)	第3予想(大穴)	ウラ予想(大胆)
商業簿記	損益計算書、貸借対照表	連結財務諸表	決算整理後の残高の計算	本支店合併財務諸表
会計学	第1問 計算問題 (工事契約)	空欄補充問題	空欄補充問題	計算問題 (ヘッジ会計、総記法、リース)
	第2問 資産除去債務	株主資本等変動計算書 (分配可能額の計算含む)	為替予約 (振当処理、独立処理)	市場販売目的の ソフトウェア
	第3問 カスタマー・ ロイヤリティ・プログラム	減損会計	連結会計	キャッシュ・フロー計算書

ここから出てる

…注意論点…

- ・収益認識、割賦販売、ポイント
- ・貸倒懸念債権
- ・リース会計
- ・新株予約権付社債
- ・自己株式
- ・デリバティブ取引
- ・社債(抽選償還)
- ・連結会計(包括利益)
- ・連結会計(持分法)
- ・連結会計(退職給付)
- ・連結会計(組織再編)
- ・キャッシュ・フロー計算書
- ・税効果会計

連結会計が連続出題！
そして気になる収益認識

ワンポイント講義へ

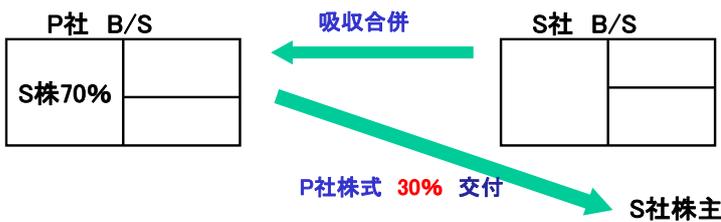
参考 | 共通支配下の取引



▶ 共通支配下の取引とは、企業結合のうち、結合当事企業(事業)のすべてが、企業結合の前で同一の株主により最終的に支配され、かつその支配が一時的ではないものをいいます。

例えば、親子会社間合併、子会社間合併、親会社から子会社への会社分割などがあてはまります。ここでは、このうち親会社から子会社⁰¹⁾への会社分割をみていきます。

01) 事業分離が関連会社に行われた場合、共通支配下の取引には該当しません。投資会社は関連会社に影響を与えることができても、支配しているわけではないからです。



合併仕訳			
親会社持分			
諸資産 70%	諸負債 70%		
土地 70%	S株 ××		
のれん ××	消滅差益 ××		抱合せ株式消滅差益は貸借差額
非株持分			
諸資産 30%	諸負債 30%		
土地 30%	資本金 ××		P社株式の時価
その他 ××			

諸資産・負債は簿価
 連結上の評価
 連結上の未償却残高

諸資産・負債は簿価
 連結上の評価
 その他資本剰余金は貸借差額

P社は、×1年3月31日にS社株式の80%を81,000円で取得し、S社を子会社とした。その後、×2年4月1日にP社がS社を合併した時のP社の個別財務諸表上の仕訳に入る適切な金額を、答案用紙の会計処理に係る文章を参考に答えなさい。税効果会計は適用しない。

- (1) 株式取得時のS社の資本 資本金：80,000円、利益剰余金18,000円
×1年3月31日の土地(簿価98,000円)の時価は100,000円である。諸負債は簿価と時価は一致していた。
- (2) のれんは発生の翌年度より10年間で定額法により償却する。
- (3) S社の×2年3月期の当期純利益は10,000円であった。S社は配当を行っていない。
- (4) P社は、×2年4月1日にS社を合併した。合併に際し、P社はS社の非支配株主に新株20株(P社株式の時価：@1,200円/株)を交付した。新株発行に伴う増加資本は、全額資本金とする。合併時の土地の時価は101,000円であった。

(5) 合併時のS社貸借対照表

貸借対照表		(単位：円)	
諸 資 産	150,000	諸 負 債	140,000
土 地	98,000	資 本 金	80,000
	248,000	繰越利益剰余金	28,000

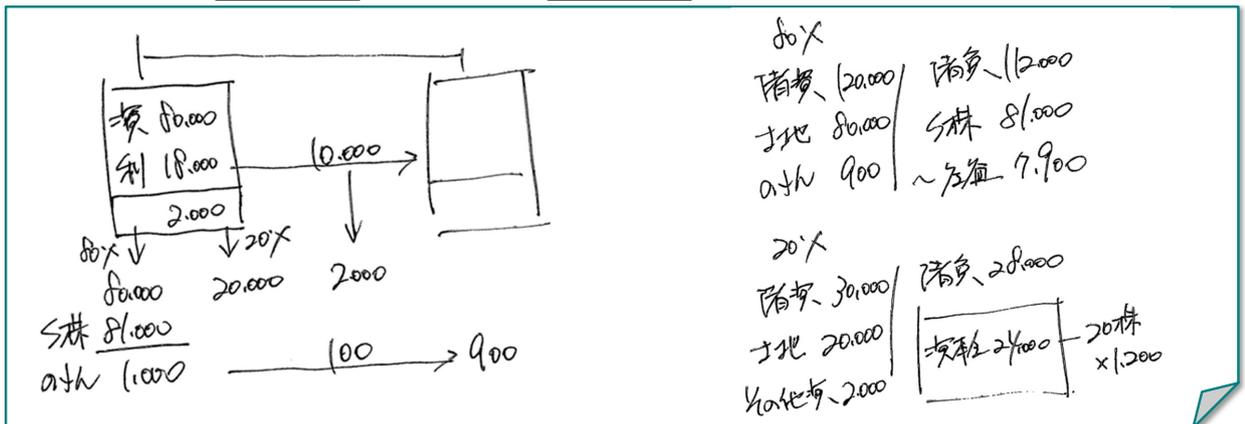
(単位：円)

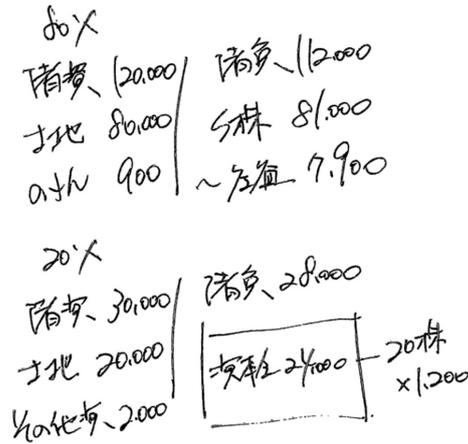
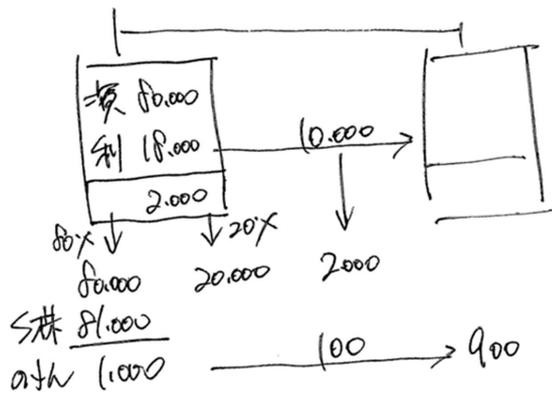
借方科目	金額	貸方科目	金額
諸 資 産		諸 負 債	
土 地		S 社 株 式	
の れ ん		資 本 金	
その他資本剰余金		抱合せ株式消滅差益	

- (1) 株式取得時のS社の資本 資本金：80,000円、利益剰余金18,000円
×1年3月31日の土地(簿価98,000円)の時価は100,000円である。諸負債は簿価と時価は一致していた。
- (2) のれんは発生の翌年度より10年間で定額法により償却する。
- (3) S社の×2年3月期の当期純利益は10,000円であった。S社は配当を行っていない。
- (4) P社は、×2年4月1日にS社を合併した。合併に際し、P社はS社の非支配株主に新株20株(P社株式の時価：@1,200円/株)を交付した。新株発行に伴う増加資本は、全額資本金とする。合併時の土地の時価は101,000円であった。

(5) 合併時のS社貸借対照表

貸借対照表		(単位：円)	
諸 資 産	150,000	諸 負 債	140,000
土 地	98,000	資 本 金	80,000
	248,000	繰越利益剰余金	28,000





借方科目	金額	貸方科目	金額
諸資産	☆ 150,000	諸負債	☆ 140,000
土地	☆ 100,000	S社株式	☆ 81,000
のれん	☆ 900	資本金	☆ 24,000
その他資本剰余金	☆ 2,000	抱合せ株式消滅差益	☆ 7,900

収益認識：契約の変更

ワンポイント講義

1. 契約の変更とは

収益認識基準では、契約の変更を「契約の**範囲の変更**または契約の**価格の変更**（あるいはその両方）」としています。

商品を販売する契約において、商品の一部を引渡し、残りの商品が未引渡しの場合に、契約を変更して、契約価格を変更する場合や、商品を追加で販売することがあります。

なお、会計処理には、契約変更を「独立した契約とする」考え方と、「独立した契約としない」考え方があります。

収益認識に関する会計基準

30. 契約変更について、次の(1)及び(2)の要件のいずれも満たす場合には、当該契約変更を独立した契約として処理する。

- (1) 別個の財又はサービス（第34項参照）の追加により、契約の範囲が拡大されること
- (2) 変更される契約の価格が、追加的に約束した財又はサービスに対する独立販売価格に特定の契約の状況に基づく適切な調整を加えた金額分だけ増額されること

↓

独立した契約として処理

甲商品・済
乙商品・未

甲商品・済
乙商品・未

丙商品

収益認識に関する会計基準

31. 契約変更が前項の要件を満たさず、独立した契約として処理されない場合には、契約変更日において未だ移転していない財又はサービスについて、それぞれ次の(1)から(3)のいずれかの方法により処理する。

(1) 未だ移転していない財又はサービスが契約変更日以前に移転した財又はサービスと別個のものである場合には、契約変更を既存の契約を解約して新しい契約を締結したものと仮定して処理する。残存履行義務に配分すべき対価の額は、次の①及び②の合計額とする（適用指針[設例3]）。

- ① 顧客が約束した対価（顧客から既に受け取った額を含む。）のうち、取引価格の見積りに含まれているが収益として認識されていない額
- ② 契約変更の一部として約束された対価

解約し、新しい契約締結と仮定

甲商品・済
乙商品・未

甲商品・済
乙商品・未

丙商品

(2) 未だ移転していない財又はサービスが契約変更日以前に移転した財又はサービスと別個のものではなく、契約変更日において部分的に充足されている単一の履行義務の一部を構成する場合には、契約変更を既存の契約の一部であると仮定して処理する。これにより、完全な履行義務の充足に向けて財又はサービスに対する支配（第37項参照）を顧客に移転する際の企業の履行を描写する進捗度（以下「履行義務の充足に係る進捗度」という。）及び取引価格が変更される場合は、契約変更日において収益の額を累積的な影響に基づき修正する（適用指針[設例4]）。

既存の契約の一部と仮定

甲商品・済
乙商品・未

甲商品・済
乙商品・未

乙商品

(3) 未だ移転していない財又はサービスが(1)と(2)の両方を含む場合には、契約変更が変更後の契約における未充足の履行義務に与える影響を、それぞれ(1)又は(2)の方法に基づき処理する。

例題 当社の決算日は3月31日である。販売は掛けにより、商品の引渡し
の都度、相手に支払義務が生じる契約である。
当社は2月1日に、得意先甲社にA商品10個を1個当たり100円で
販売する契約を締結した。A商品の独立販売価格も@100円である。

(1) 2月20日にA商品のうち6個を甲社に引き渡した。

ケース1

(2) 3月1日に、甲社に追加でB商品10個を1個当たり90円で販売
する契約を締結した。B商品の独立販売価格は@100円であり、**差
額10円は追加購入による値引き分**であり、**独立販売価格に適切な
調整を加えた額と認められる。**

(3) 4月1日にA商品のうち残り4個を甲社に引き渡した。

(4) 5月1日にB商品10個を甲社に引き渡した。

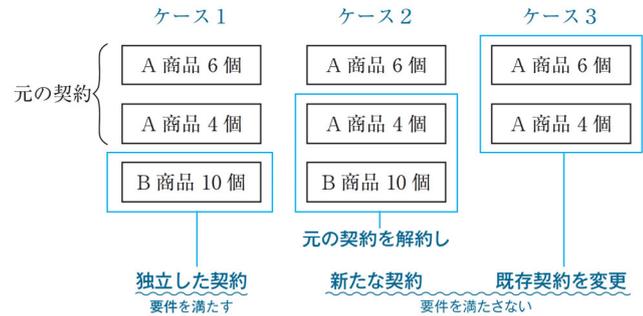
ケース1では、上記の要件をいずれも満たすため、追加されたB商品の
販売を「独立した契約」として処理します。

(1) 2月20日 売上計上額：@100円（A商品）×6個=600円

(2) 3月1日 「仕訳なし」

(3) 4月1日 売上計上額：@100円（A商品）×4個=400円

(4) 5月1日 売上計上額：**@90円（B商品）×10個=900円**



例題 当社の決算日は3月31日である。販売は掛けにより、商品の引渡し
の都度、相手に支払義務が生じる契約である。
当社は2月1日に、得意先甲社にA商品10個を1個当たり100円で
販売する契約を締結した。A商品の独立販売価格も@100円である。

(1) 2月20日にA商品のうち6個を甲社に引き渡した。

例題 (中略)

ケース2

(2) 3月1日に、甲社に追加でB商品10個を1個当たり58円で販売
する契約を締結した。B商品の独立販売価格は@100円である。

**差額42円は値引きではなくA商品4個の納品が遅れたことによ
る賠償による減額分**であり、**独立販売価格に適切な調整を加えた額
と認められない。**

(3) 4月1日にA商品のうち残り4個を甲社に引き渡した。

(4) 5月1日にB商品10個を甲社に引き渡した。

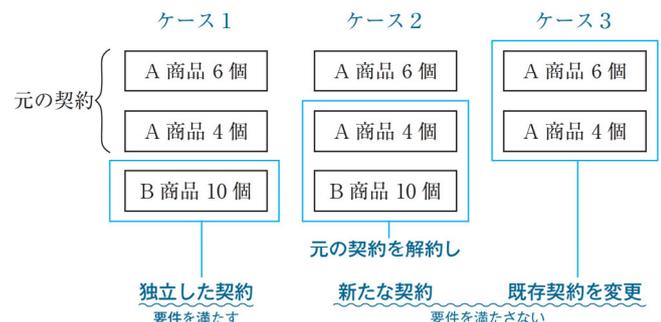
(1) 2月20日 売上計上額：@100円（A商品）×6個=600円

(2) 3月1日 「仕訳なし」

(3) 1個当たり販売価格：980円÷（A4個+B10個）=@70円

4月1日 売上計上額：**@70円（A商品）×4個=280円**

(4) 5月1日 売上計上額：**@70円（B商品）×10個=700円**



例題 当社の決算日は3月31日である。販売は掛けにより、商品の引渡し
の都度、相手に支払義務が生じる契約である。

当社は2月1日に、得意先甲社にA商品10個を1個当たり100円で
販売する契約を締結した。A商品の独立販売価格も@100円である。

(1) 2月20日にA商品のうち6個を甲社に引き渡した。

例題 (中略)

ケース3

(2) 3月1日に、A商品4個の販売価格を@100円から1個当たり50
円で販売する契約に変更した。減額分はA商品4個の納品遅延によ
る賠償分である。

(3) 4月1日にA商品のうち2個を甲社に引き渡した。

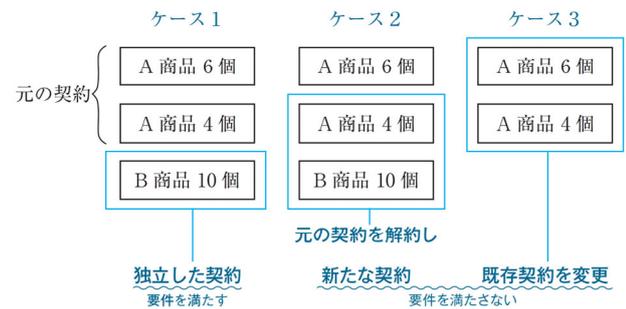
(4) 5月1日にA商品のうち2個を甲社に引き渡した。

(借) 売 上 120 (貸) 売 掛 金 120

(3) 4月1日 売上計上額: $800 \text{円} \times \frac{8 \text{個}}{10 \text{個}} - 480 \text{円} = 160 \text{円}$ (または@80円×2個)

(4) 5月1日 売上計上額: $800 \text{円} - 480 \text{円} - 160 \text{円} = 160 \text{円}$ (または@80円×2個)

ケース3は、**工事契約の請負価額の変更**と同じです。**契約変更後の収
益累計額からすでに収益計上した額を引いた額を当期の収益**とします。



ご清聴ありがとうございます
次は工原いきましょう!



インターネットLive

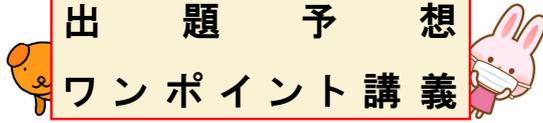
予想大会!

◇◆工業簿記・原価計算◆◇

過去の出題実績

出題予想

ワンポイント講義



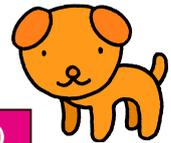
工業簿記の傾向

項目	論点	頻度	152回	153回	156回	157回	158回	159回	161回	162回	164回	165回
費目別計算		4	●	●	●		●					
個別原価計算		-										
部門別計算		2					●			●		
総合原価計算		2	●								●	●
標準原価計算		4				●		●	●			●
その他の計算問題		1				●						
理論問題		7	●		●	●	●	●			●	●
項目	論点											
費目別計算	材料費・労務費・経費等	5	●	●	●		●					●
個別原価計算	単純個別・部門別個別	-										
	仕損・作業屑の処理	-										
	ロット別個別原価計算	1										●
部門別計算	配賦基準(単一基準・複数基準)	1					●					
	配賦額の計算(実際配賦・予定配賦)	2					●			●		
	補助部門間の用役授受	1					●					
総合原価計算	仕損・減損の処理(度外視法・非度外視法)	2	●									●
	仕損・減損の処理(一定点発生・平均的発生)	2	●									●
	減損の安定的発生	-										
	工程別総合原価計算(累加法・非累加法)	1	●									
	追加材料の投入(終点・途中点・平均的投入)	-										
その他の総合原価計算	組別総合原価計算	-										
	等級別総合原価計算	-										
	連産品	-										
標準原価計算	副産物	-										
	原価標準の設定	2					●			●		
	原価差異の分析(配合歩留を除く)	4				●		●	●			●
	勘定記入(シングル・プラン・修正バーサル・プラン)	1						●				
	仕損・減損の処理(第1法・第2法)	-										
	配合差異・歩留差異	1						●				
その他の標準原価計算	差異の追加配賦	1										●
	標準工程別原価計算	2						●	●			
	本社工場会計	-										

原価計算の傾向

項目	頻度	152回	153回	156回	157回	158回	159回	161回	162回	164回	165回
直接原価計算・CVP分析	5	●			●	●			●	●	
予算管理・事業部制	5	●	●		●	●		●			
意思決定会計	4		●		●				●		●
戦略的原価計算	2			●							
理論問題	8			●	●	●	●	●	●	●	●
項目	論点										
原価・営業量・利益関係の分析	CVP分析	4	●		●	●			●		
	安全余裕率・経営レバレッジ	2	●			●					
直接原価計算	原価の固定分解	-									
	固定費調整	-									
	貢献利益と価格決定	-									
	直接原価計算による損益計算書	-									
最適セールスマックス	直接原価計算と全部原価計算	1								●	
	共通制約条件ひとつ	-									
予算管理	線形計画法(LP)	1			●						
	予算編成	3	●			●		●			
事業部の業績測定	予算実績差異分析	2		●		●					
	セグメント別損益計算書	1					●				
業務執行的意思決定会計	事業部長と事業部の業績測定(ROI, RII)	1						●			
	内部採替価格	1					●				
	注文引受可否の意思決定	-									
設備投資意思決定会計	自製か購入かの意思決定	-									
	その他の意思決定	1							●		
	新規投資・追加投資	3		●		●					●
	取替投資	-									
投資案の評価	キャッシュ・フロー予測	1									●
	タックスシールド	1									●
	資本コスト	-									
戦略的原価計算	正味現在価値法	3		●		●					●
	内部利益率法	2		●		●					
	その他の評価法	2			●						●
原価計算	原価企画	2			●					●	
	活動基準原価計算	3		●						●	
	品質原価計算	1									●
	ライフサイクル・コストニング	2						●		●	

工業簿記・原価計算…テクニックよりも本質の理解が求められる



	第1予想(本命)	第2予想(対抗)	第3予想(大穴)	ウラ予想(大胆)
工業簿記	費目別計算	部門別計算 個別原価計算	総合原価計算	標準原価計算
原価計算	予算実績差異分析	CVP分析 事業部制	活動基準原価計算 線形計画法	業務執行的意思決定



工業簿記・原価計算の

きになるポイント

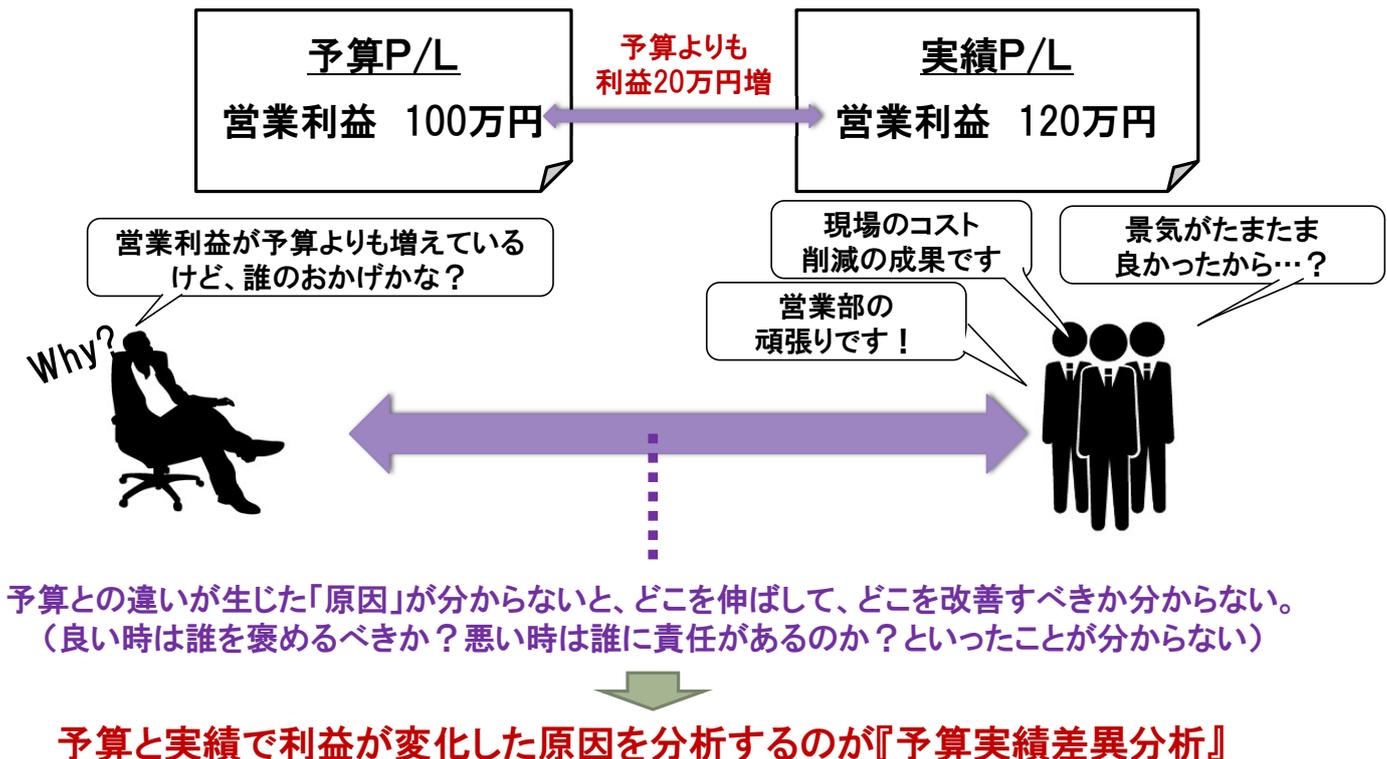
- 前回の試験は計算量も少なく、高得点が狙える問題だった。その代わりに、きちんと問題文を読み、出題の趣旨を読み取れないと、見た目に反して得点が伸びない問題だった。
- 最近、この傾向が続いているので、これから先も「テクニックより本質」が問われる問題の出題可能性が高いのではないかと予想。
- 工業簿記に関しては、最近の出題頻度が高い費目別計算とあまり出題されていない部門別計算が、原価計算に関しては最近出していない予算実績差異分析の可能性が高いのではないかと予想。



ワンポイント講義

予算実績差異分析

予算実績差異分析の目的



差異分析の基本原則

価格差異と数量差異

価格(単価)に関する差異と数量に関する差異は、原則として以下のように計算する。

$$\text{価格差異} = \text{価格差} \times \text{実績数量}$$

$$\text{数量差異} = \text{数量差} \times \text{予算価格}$$

※ 同じ数量の差でも、実際の販売価格により数量差異の金額が変わることの無いよう、あらかじめ定めた価格を掛けて数量差異を求めるのは、(2級で習った)標準原価計算と同じ。

【例】月間の目標販売量100個に対し、1月も2月も10個増(110個)販売した。
 なお、1月の販売価格は予算と同じ@500円、2月は@400円だった。

➡ 販売数量の差異を「実際価格」で計算すると、同じ10個増なのに1月と2月で金額が違う…???

有利差異と不利差異

予算実績差異分析では、収益・費用・利益という、それぞれ性質の異なる項目の増減を分析するため、項目によって有利・不利の考え方が異なる。

★有利差異/不利差異の考え方★

収益・利益の項目 予算よりも実績が増えていれば**有利差異**、減っていれば**不利差異**

原価(費用)の項目 予算よりも実績が増えていれば**不利差異**、減っていれば**有利差異**

標準原価計算など、これまでの原価差異分析はこちらだけ考えていた

※ 直感的に「**利益が増えるのであれば有利、利益が減るのであれば不利**」と考えればOK

実際の問題で考えてみよう

第167回日商簿記ズバリ！1級の中完全予想模試 第1予想 原価計算



当社は、製品Xと製品Yを製造・販売し、直接標準原価計算制度を採用している。次の20X3年度5月度の予算及び実績に関する資料にもとづいて、各問に答えなさい。

【資料】

1. 生産・販売数量等

	製品X		製品Y	
	予算	実績	予算	実績
生産・販売数量	720 個	700 個	180 個	350 個
販売単価	56,000 円	54,800 円	48,000 円	49,100 円
市場占拠率	(予算) 45 %		(実績) 42 %	

2. 変動費

	製品X	製品Y
製品1個あたり標準変動費		
直接材料費	18,000 円	16,500 円
直接労務費	6,500 円	4,000 円
製造間接費	5,200 円	3,200 円
販売費	1,300 円	900 円

3. 固定費

	製品X		製品Y	
	予算	実績	予算	実績
個別固定費	620,000 円	615,000 円	785,000 円	826,000 円
共通固定費	(予算) 2,880,000 円		(実績) 2,988,000 円	

予算P/L

予算損益計算書

	製品X			製品Y			合計金額 (千円)
	単価 (円)	数量 (個)	金額 (千円)	単価 (円)	数量 (個)	金額 (千円)	
売上高	56,000	× 720	= 40,320	48,000	× 180	= 8,640	48,960
標準変動費							
変動売上原価	29,700*1	× 720	= 21,384	23,700*2	× 180	= 4,266	25,650
変動販売費	1,300	× 720	= 936	900	× 180	= 162	1,098
標準貢献利益	25,000	× 720	= 18,000	23,400	× 180	= 4,212	22,212
固定費							
個別固定費			620			785	1,405
共通固定費			-			-	2,880
営業利益							17,927

実際P/L

実際損益計算書

	製品X			製品Y			合計金額 (千円)
	単価 (円)	数量 (個)	金額 (千円)	単価 (円)	数量 (個)	金額 (千円)	
売上高	54,800	× 700	= 38,360	49,100	× 350	= 17,185	55,545
標準変動費							
変動売上原価	29,700	× 700	= 20,790	23,700	× 350	= 8,295	29,085
変動販売費	1,300	× 700	= 910	900	× 350	= 315	1,225
標準貢献利益	23,800	× 700	= 16,660	24,500	× 350	= 8,575	25,235
標準変動費差異			183			88	271
実際貢献利益			16,477			8,487	24,964
固定費							
個別固定費			615			826	1,441
共通固定費			-			-	2,988
営業利益							20,535

売上高差異の分析

第167回日商簿記ズバリ！1級の中完全予想模試 第1予想 原価計算

予算P/L

	製品X			製品Y			合計金額 (千円)
	単価 (円)	数量 (個)	金額 (千円)	単価 (円)	数量 (個)	金額 (千円)	
売上高	56,000	720	40,320	48,000	180	8,640	48,960

実際P/L

	製品X			製品Y			合計金額 (千円)
	単価 (円)	数量 (個)	金額 (千円)	単価 (円)	数量 (個)	金額 (千円)	
売上高	54,800	700	38,360	49,100	350	17,185	55,545

価格差異と数量差異

価格(単価)に関する差異と数量に関する差異は、原則として以下のように計算する。

$$\text{価格差異} = \text{価格差} \times \text{実績数量}$$

$$\text{数量差異} = \text{数量差} \times \text{予算価格}$$

有利差異と不利差異

予算実績差異分析では、収益・費用・利益という、それぞれ性質の異なる項目の増減を分析するため、項目によって有利・不利の考え方が異なる。

★有利差異/不利差異の考え方★

収益・利益の項目 予算よりも実績が増えていれば**有利差異**、減っていれば**不利差異**
 原価(費用)の項目 予算よりも実績が増えていれば**不利差異**、減っていれば**有利差異**

	製品X	製品Y	合計
価格差異			
数量差異			
合計			

総額分析と純額分析

第167回日商簿記ズバリ！1級の中完全予想模試 第1予想 原価計算

問3

営業利益差異分析表
20X3年度5月

(単位：千円)

P/L	製品X	製品Y	合計
予算営業利益	(17,927)		(17,927)
販売価格差異	(Δ 840)	(Δ 455)	(Δ 1,295)
売上高	(★ + 385)	(Δ 455)	(Δ 70)
売上高販売数量差異	(★ Δ 1,120)	(+ 7,040)	(Δ 5,920)
変動売上原価	(Δ 171)	(Δ 145)	(Δ 316)
変動売上原価販売数量差異	(★ + 594)	(★ Δ 4,029)	(Δ 3,435)
変動販売費	(Δ 12)	(Δ 126)	(Δ 138)
変動販売費販売数量差異	(★ + 26)	(Δ 153)	(Δ 127)

【製品X】
予算と比べて販売量が減ったため
売上高が1,120千円減ったが、
変動費も計620千円減った。

【製品Y】
予算と比べて販売量が増えたため
売上高が8,160千円増えたが、
変動費も計4,182千円増えた。

当社は、製品Xと製品Yを製造・販売し、直接標準原価計算制度を採用している。次の20X3年度5月度の予算及び実績に関する資料にもとづいて、各問に答えなさい。

【資料】

1. 生産・販売数量等

	製品X		製品Y	
	予算	実績	予算	実績
生産・販売数量	720個	700個	180個	350個
販売単価	56,000円	54,800円	48,000円	49,100円
市場占拠率	(予算) 45%		(実績) 42%	

予算と比べて
Δ20個

予算と比べて
+170個

2. 変動費

	製品X	製品Y
製品1個あたり標準変動費		
直接材料費	18,000円	16,500円
直接労務費	6,500円	4,000円
製造間接費	5,200円	3,200円
販売費	1,300円	900円

セールス・ミックス差異と総販売数量差異

第167回日商簿記ズバリ！1級の中完全予想模試
第1予想 原価計算

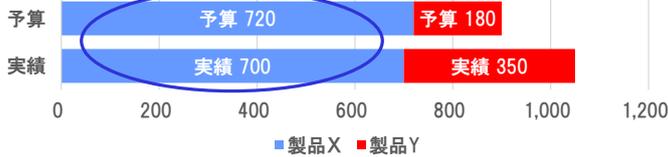
1. 生産・販売数量等

	製品 X		製品 Y	
	予算	実績	予算	実績
生産・販売数量	720 個	700 個	180 個	350 個
販売単価	56,000 円	54,800 円	48,000 円	49,100 円
市場占拠率	(予算) 45%		(実績) 42%	

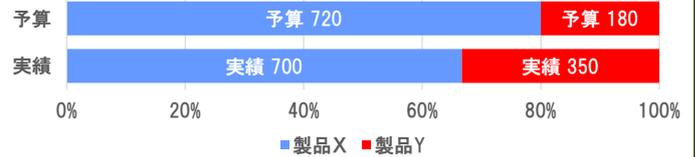
会社全体
予算 900個
実績 1,050個

実数(個数)

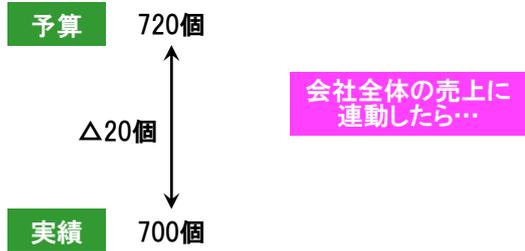
会社全体の販売数が増えているので、製品Xの販売数も増えるはずでは…？



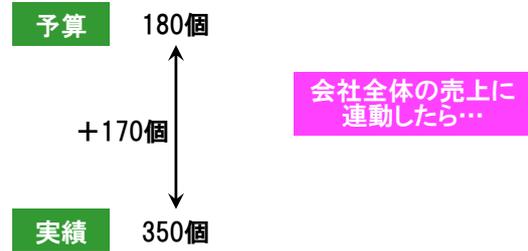
構成割合



製品Xで考えると…



製品Yで考えると…



セールス・ミックス差異と総販売数量差異

第167回日商簿記ズバリ！1級の中完全予想模試
第1予想 原価計算

1. 生産・販売数量等

	製品 X		製品 Y	
	予算	実績	予算	実績
生産・販売数量	720 個	700 個	180 個	350 個
販売単価	56,000 円	54,800 円	48,000 円	49,100 円
市場占拠率	(予算) 45%		(実績) 42%	

会社全体
予算 900個
実績 1,050個

本問は「問3の営業利益差異分析表における売上高販売数量差異について、セールス・ミックス差異(中略)と総販売数量差異に分析しなさい」と指示されているので、問3の売上高販売数量差異を計算するときにも使った@予算売価を使って計算する。

製品Xの売上高販売数量差異の細分析

製品Yの売上高販売数量差異の細分析



まとめ

日商簿記1級では「差異分析」が出てくることが多く、「予算実績差異分析」はその一部。

- ① 予算実績差異分析の問題は、原価だけでなく収益・利益も差異を分析するので、増えたら良いものか／悪いものかを見極めることが大切。
- ② その差異が「何と何の違いを分析したいのか」を意識して、それ以外の要素の違いが計算結果に含まれないようにするには、どうすればよいかを意識しよう。
- ③ 試験から一步離れたら、差異分析は「計算した結果をどのように活かすのか」が大切なので、計算結果の活用に関する文章題や理論問題も出題される可能性がとても高いことを押さえておく必要がある。



差異分析は「型にはめる」ことができれば、機械的に解けて楽だが、これはあくまでも「問題を解くためのテクニック」に過ぎない。

作問者の中には「型にはめることしかできない」受験生を篩(ふるい)にかけるような問題を作るタイプの人もあるので、ボックス図などは「効率よく解くためのツール」であって、「ボックス図を作ること」が目的ではないことを認識しておこう。

直前期の過ごし方



現時点で過去問題や予想問題などを解いたときの点数は？

(1) 70点以上とれている

(2) 50～60点台で推移している

(3) 40点台くらいが精一杯

(4) 40点を下回ることが多い

(5) まだ解いたことがない

あなたは何タイプ？

1または2と
お答えの方

合格に向けて一直線
この調子！タイプ

3・4・5と
お答えの方

まだまだ諦めるな
一発逆転！タイプ

直前期の過ごし方

合格に向けて一直線 **この調子！**タイプ

	4 W	3 W	2 W	1 W	6/9
Step1 ↓ Step2 ↓ Step3	予想模試第1予想 →第3予想	予想模試第1予想 →ウラ予想	予想模試第1予想 →ウラ予想	第1予想～ ウラ予想まで 今まで解いた 問題の 最終チェック!!	本 試 験
	時間を計ってチャ レンジしてみよう	とにかく8割を 目指そう	時間内に 8割目指そう		
	問題が解けるようになった関連する予想模試にもチャレ ンジしてみよう！				
	「講師が選んだ過去問題集2024年」より 商業簿記/会計学 第1部 4回・6回・8回 工業簿記/原価計算 第1部 1回・4回・8回 をバッチリ仕上げよう！				
	通勤時間などの移動時間を利用して、テキスト（特に商会）をしっかり確認！				

WEB 直前答練で最終確認

理論対策はスキマ時間に！

直前期の過ごし方
 まだまだ諦めるな

一発逆転! タイプ



予想大会

	4 W	3 W	2 W	1 W	6/9
Step1	予想模試第1予想 →第2予想	予想模試第1予想 →第3予想	予想模試第1予想 →第ウラ予想	今まで解いた 問題を最後に チェック しておこう	本 試 験
	まずは解いてみる	とにかく7割を 目指そう	時間内に合格点を 目指そう		
Step2	予想模試の解説ページを読んでも理解できない部分は、基礎が怪しい可能性大。テキスト確認で基本論点は押さえておこう！（基本の復習を恐れないで！）				
	WEB 直前答練で最終確認				
Step3	誰でも解ける過去問題集のヨコ解きで実力を固めよう！				
				理論対策はスキマ時間に！	

直前期の過ごし方



予想大会

- ❑ 時間のない方・・・スキマ時間で商会！！**
 （仕訳と理論の復習はスキマ時間に最適）
- ❑ 標準・・・時間を計って予想模試×3回**
- ❑ 時間のある方・・・予想模試→過去問で総仕上げ**
 （指示や条件が変わっても解けるように）

第167回向け

日商簿記1級

直前対策コース

出題予想に基づいた**直前答練**と**過去問解き方**
中心のアウトプットトレーニングコース

パソコン・スマホで学習!

解き方講義

商会/工原各5回

直前答練

商会/工原各5回

とおる模試

商会/工原各1回

受講料金: **25,600円(税込)**:教材別コース

(※とおる模試以外の教材は別途ご用意ください。)



藤本拓也先生



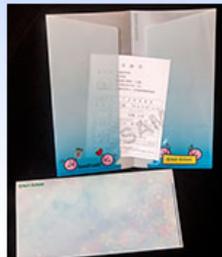
中村雄行先生

Net-School

インターネットLIVE NS予想大会

第167回日商簿記1級

皆さまの第167回日商簿記1級合格を
講師・スタッフ一同 祈念いたします。



アンケートにご協力をお願い致します
アンケートは特設サイトよりご利用ください。
5月17日までにアンケートを送信いただいた方の中
から、抽選で5名様に特製受験票ホルダーを
進呈致します。